

桔梗が丘東小学校

1. 学校運営協議会の開催について

【第1回】学校運営協議会（令和7年6月5日木曜日13時40分～16時00分）

- ①授業参観
- ②委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③令和7年度学校運営について
- ④学校運営教委会の組織並びに運営方針について
- ⑤部会別協議（3部会）
- ⑥情報交換・その他

【第2回】学校運営協議会（令和7年10月17日木曜日14時00分～16時00分）

- ①授業参観
- ②児童の学校生活の様子・学力向上に向けた取組について
- ③熟議 内容：「主体的に学び活動する児童の育成」について（教職員との懇談）
- ④各部会からの報告（課題と今後の活動について）

【第3回】学校運営協議会（令和8年2月16日木曜日15時30分～17時00分）

- ①本年度の学校運営の成果と課題について
- ②「令和7年度の学校評価書」について
- ③次年度の学校運営及び学校運営協議会について
- ④「各部会の次年度の活動について」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ①学校運営協議会委員による授業参観、学校運営（基本方針）の承認。
- ②学校運営協議会委員からなる3部会により「令和7年度学校・地域協働活動年間計画」（CSカレンダー）の検討と取組の確認、今年度の子どもたちへの支援について協議。
- ③教職員との熟議による「育てたい子ども像」の共有と取組の確認。
- ④児童、保護者など学校アンケート結果および全国学力・学習状況調査等の結果から見えた課題の共有と今後の取組についての協議。
- ⑤学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



委員による協議



授業の参観



教職員との熟議

(2) 【学校支援の充実】

- ①「あそびつくす実行委員会」との連携による「あそびつくす in 東小」の開催
・花の栽培やじゃがいもの苗植え、いもほりなど体験的な学習の場の提供。
・キッズプロジェクトとして、児童が地域イベントを企画運営、「デイキャンプ」の実施。
・夏季休業中の居場所づくりとして、工作や陶芸体験など「夏休みわくわく広場」を開催。
- ②「子どもを守る連絡会」と連携した登下校ボランティアによる児童の見守り支援や学校周辺の除草作業、通学路・運動場の整備。
- ③読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせ。
- ④地域で活動している方による、ゲストティーチャーとしての体験的な学習の支援。
- ⑤「地域の絆づくり事業連絡協議会」による里山体験などの学習支援。
- ⑥桔梗が丘自治連合協議会の支援による防災訓練、防災学習の実施。
- ⑦桔梗が丘自治連合協議会によるセアカゴケグモの駆除作業など校内環境整備。



夏休み わくわく広場



ニホンハナタカバチの観察



里山体験学習

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ①「あそびつくす実行委員会」と連携し、「通学路花いっぱい運動」の取組を通して児童・保護者・地域住民との交流。栽培した花を地域の方へ無償配布。
- ②登下校や環境整備、読み聞かせ等でお世話になったボランティアの方々への「感謝の会」を実施。また支援ボランティアの相互理解を進めるため、「ボランティア交流会」を開催。
- ③桔梗が丘市民センター祭りへの児童の作品展示、「こころの思い発表会」への児童参加。
- ④「名張市総合防災訓練」において、避難所開設訓練の運営に携わり、会場準備を担当。



花いっぱい運動



避難所開設訓練



「あそびつくす in 東小」
キッズプロジェクト

3. 成果と課題

【成果】

- 学校運営について、委員の皆さんから幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができた。また、行事や地域活動に、学校教育目標「やる気・勇気・元気」を具体的に落とし込み、学校と地域がめざす子どもの姿を共有し、「あそびつくす in 東小」等の活動を実施することができた。
- 地域からの活動支援について、学校運営協議会の活動として整理し「学校・地域協働活

動年間計画」(CS カレンダー)を作成し、それに基づき学校と地域が計画的に取組を実施し、支援の充実・発展につなげる仕組みづくりにつなげることができた。

- 各委員の皆さんの担当分野(3部会)を設けたことにより、児童の活動により関心を持っていただきながら具体的な取組を進めることができた。今年度はじめて、あそびっくす実行委員会の協力のもと、夏季休業中に「夏休みわくわく広場」を開催し、地域主体の夏休みの居場所づくりの取組も進んだ。またキッズメンバーが企画したキッズプロジェクトとして、学校を開放し、「あそびっくす in 東小 デイキャンプ」をはじめて実施できたことは、児童が地域イベントを企画運営する機会となった。
- 今年度、はじめて「ボランティア交流会」を開催したことで、支援ボランティアそれぞれの活動内容や意見の交流を通してボランティア相互のつながりを深めることができた。
- 「名張市総合防災訓練」にあわせ、今年度はじめて、児童の1次避難場所への避難訓練や本校体育館にて、避難所開設訓練を実施したことにより「防災」をキーワードに学校と地域が連携した取組を進めることができた。
- 今年度は第2回学校運営協議会にて、全教職員が出席し委員の皆さんと「主体的な子どもを育てるために」に関わる熟議を行うと共に、部会での協議にも参加した。委員との意見交流を通して、目指す子ども像の共有と教職員のコミュニティ・スクール推進の意識向上につながった。

【課題】

- ボランティアの方々の高齢化が課題としてあがっており、地域・PTAとの協働の重要性と人材発掘を図っていく必要がある。
- 子どもの主体性を育むための具体的な方策について、更に協議を深め熟議の内容や方法など、より効果的になるよう工夫をしていく必要がある。
- 通学路花いっぱい運動や「あそびっくす in 東小」の開催など、今後も地域住民と児童がふれあう機会を設定したり、各区長に依頼し環境美化作業等に地域住民の積極的な参加・支援を呼びかけ、来校の機会を設定するなど、学校を通して児童をふくめた地域住民相互の結びつきが深まるよう、学校から地域へ貢献する場を模索していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

